## 第2章 本市の景観特性

## 2-I 地形·樹林地

緩やかな丘陵地とその間を流れる河川が織りなす地形は、過去から現代まで変わらない地域の風景として残っています。

- ◆本市の地形の起伏は「地名」に残されています。地形を反映した地名としては、「狐山」「羽根山」など、「○○山」が特徴として見られます。(図表 2 I 参照)
- ◆近世まで平地部は農地(水田)として、丘陵地は里山として、集落地はこの丘陵地の山裾に 形成されていました。
- ◆この地形は古くから現代まで変わらない地域の原型であり、現在も「坂道」、「社寺境内林」、 「樹林地・竹林」、「住宅開発地内に残された斜面樹林地」などが形をとどめています。
- ◆本市は、境川、鞍流瀬川などの河川沿いの平地、及びその河岸に広がる丘陵地で構成されています。(図表 2-2、2-3 参照)
- ◆市内の眺望点からは、この地形の起伏の状況を俯瞰することができます。
- ◆坂道は旧集落内に残る曲がりくねった道路のほか、現在の幹線道路においても見られ、上り 坂における空の広がりや、下り坂における見晴らしなど、車窓景観として感じることができ ます。

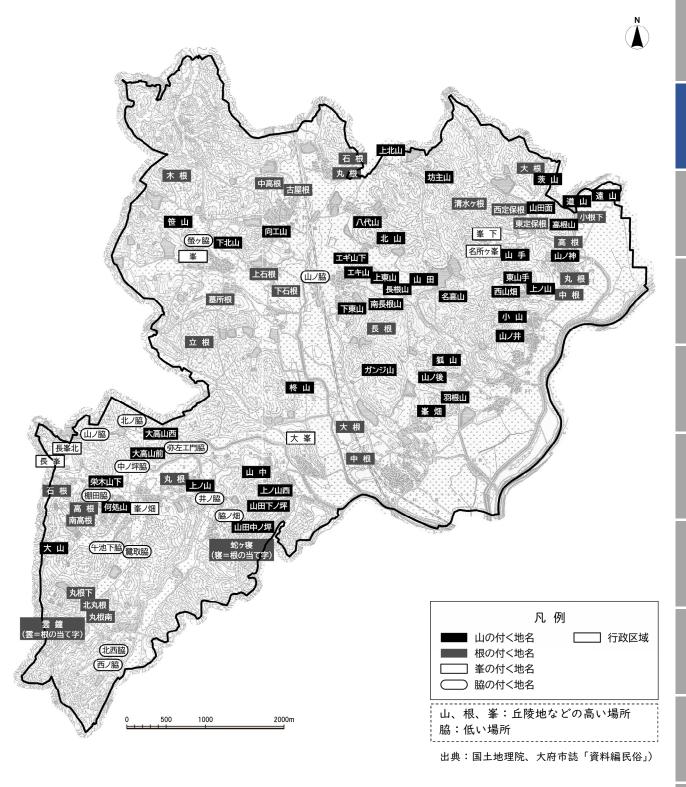


熊野神社の参道と境内林 (宮内町)

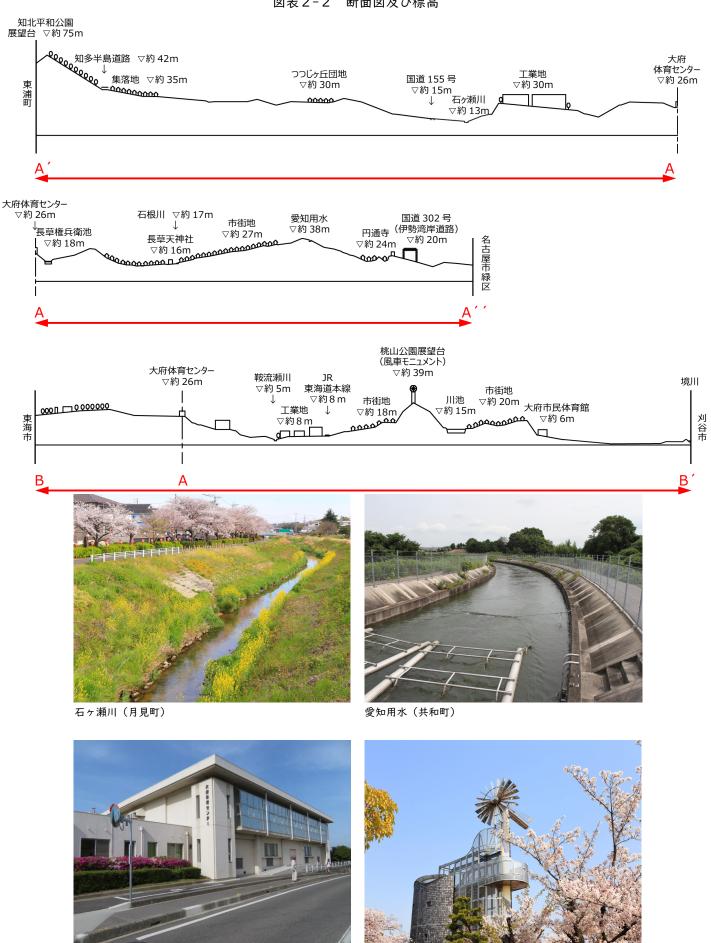


(市)二ツ池追分線の上り坂の向こうに、広がりのある空の風景が見られる(長根町)

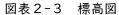
図表 2-1 地形を反映した地名

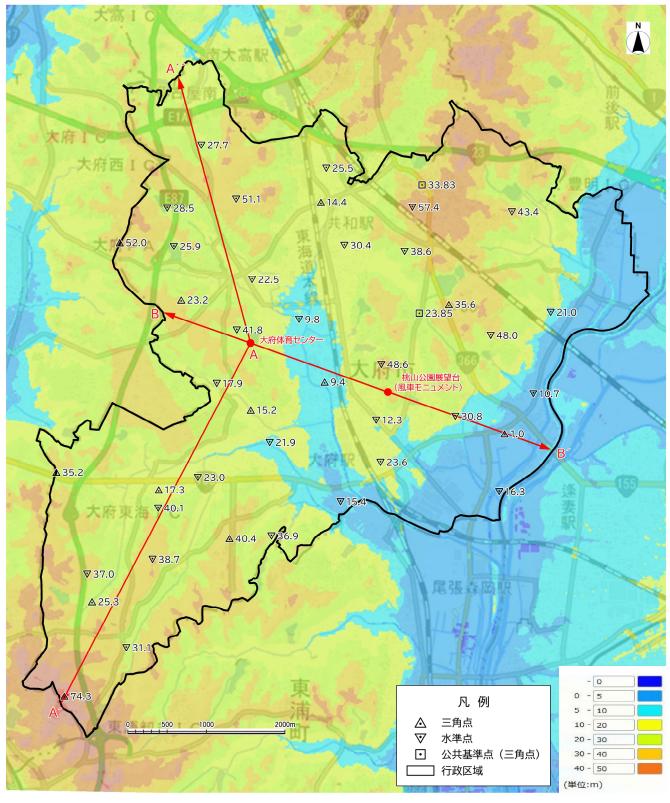


図表2-2 断面図及び標高



大府体育センター (長草町) 桃山公園展望台(風車モニュメント)(桃山町)





(出典:国土地理院ホームページに加筆)

### 2-2 河川・ため池

河川やため池は、昔から変わらない地域資源として市民にとって身近なものとなっており、まちの風景を楽しむ視点場となっています。

- ◆本市には中小河川がくまなく流れており、各地域の水辺空間を形成しています。本市中央部 を南北に流れる鞍流瀬川をはじめとした中小の河川が、石ヶ瀬川及び境川に合流しています。
- ◆河川周辺に古代の痕跡として、「古窯」が多く分布しています。丘陵地の外縁には縄文貝塚があり、惣作遺跡からは製塩に関する土器が出土されています。伊勢湾台風(昭和 34 年(1959年)) や東海豪雨(平成 12 年(2000年)) の時に冠水した地域が沖積地であったことから、丘陵地以外には海が現在よりかなり奥まで入り込んでいたことが想定されます。
- ◆鞍流瀬川、石ヶ瀬川、砂川などで遊歩道となる緑道や親水護岸の整備が進んでいます。
- ◆市内には古くから整備されたため池が 76 箇所あります。時が経つにつれ、都市化により農地が宅地化され、ため池が埋め立てられている一方で、現代では、ため池の一部が修景整備により市民に親しまれる公園として活用されています。(図表 2-4 参照)



石ヶ瀬川 (森岡橋付近) は親水性が高く、 河川沿いの遊歩道も整備されている (月見町)



鞍流瀬川 (大府駅西側付近) (江端町)

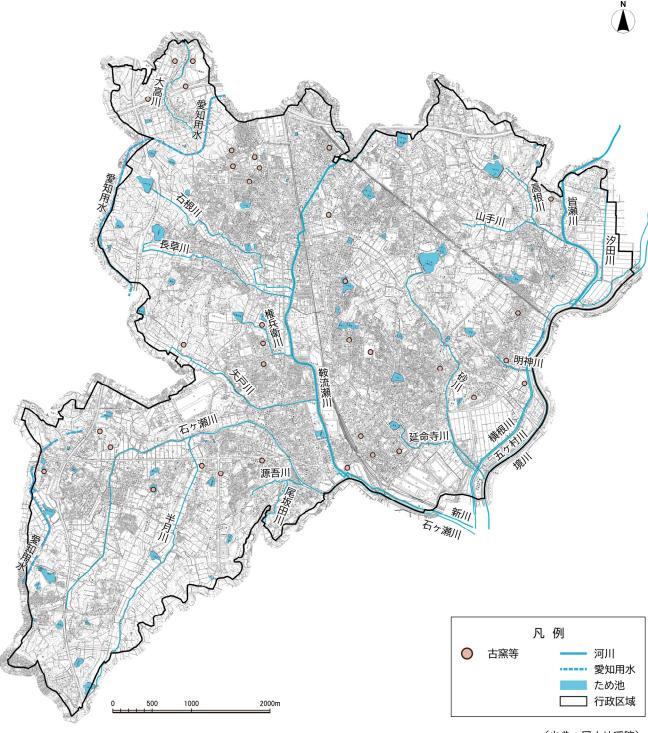


ニツ池の一部は散歩コースとして活用され、 景観整備もされている(横根町)



神様池 (宮内町)

図表2-4 河川・ため池の分布



(出典:国土地理院)

## 2-3 農業

江戸時代の新田開発、河川の樋門やため池、愛知用水などの農業施設のほか、都市化する まちなかにある田畑や果樹園が農業景観として残っています。

- ◆本地域の地形を利用したため池が数多く設けられ、農業用水利を確保するために、その多く が現存しています。
- ◆本市東部の横根、北崎地域では江戸時代、「五ヶ村」といわれる耕地開拓の古い歴史があります。その名残は明治時代に築造された五ヶ村川と明神川の立体交差の樋門として今もなお現存し、活用されており、国の登録有形文化財の指定を受けています。
- ◆本市東南部の境川・五ヶ村川・石ヶ瀬川沿いの低地は、現在も水田として一団のまとまり(農 用地区域)を維持しています。(図表 2-5 参照)
- ◆市域の大部分を占める丘陵部は、かつては水利に恵まれない荒地でしたが、ため池の築造、 近代においては愛知用水の整備により畑作が行われるようになり、現在ではぶどう畑が広が っています。農業生産においても全国有数の果樹栽培の出荷量を誇り、こうしたぶどうをは じめとした果樹栽培の風景が市街地の近傍に広がっています。(図表 2-5 参照)
- ◆本市南部のウェルネスバレー地区内にある物販・交流施設は、多くの人に利用されています。 また、夏季のぶどう狩りや冬から春のいちご狩りなどの観光農業が盛んです。(図表2-5参照)
- ◆都市化が進んでいるものの、身近に水田や畑地、果樹園などの農地が残っており、都市近郊 の農業景観を眺められます。



まとまりのある水田 (北崎町)



ぶどう畑は斜面に位置するものが多く、眺望景観が優れた 箇所もある(長根町)

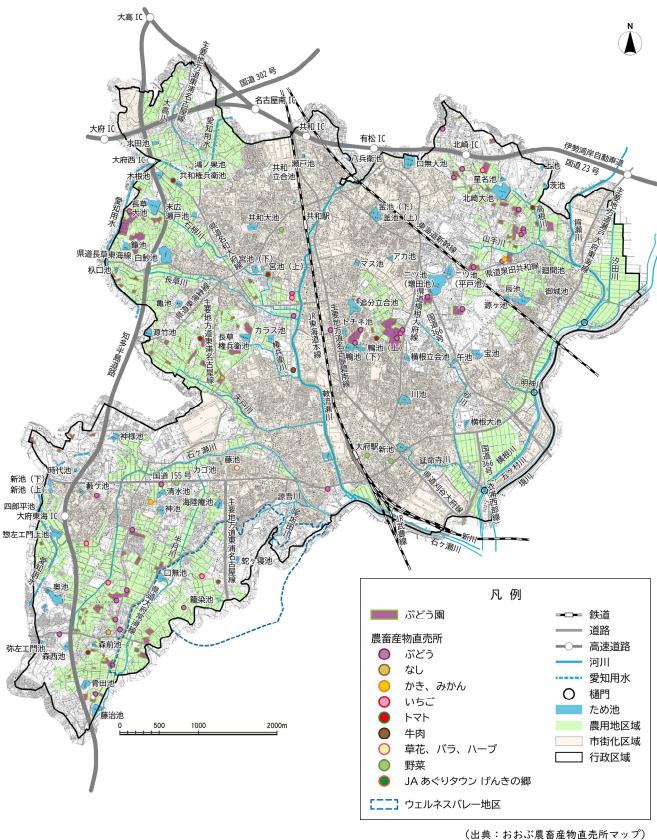


ウェルネスバレー地区内の農地 (吉田町)



登録有形文化財の明神樋門 (横根町)

図表2-5 農業施設の分布



## 2-4 歴史・伝統文化

古代の縄文遺跡、古窯、中近世の社寺とそれにまつわる祭事、ため池の伝説などが緑地とともに分布しています。

- ◆中近世では、集落地と一体となった社寺及び境内林とその祭事が現在も継承されています。 特に樹齢を重ねた巨木が保存樹木に指定されており、熱田神社(朝日町)や森岡八幡社(森 岡町)などの保存樹木は、遠くからもランドマークとして見ることができる地域の原風景の シンボルです。(図表 2-6 参照)
- ◆鞍流瀬川や五ヶ村川の名の由来など、地名にもそれらの歴史が刻まれています。また、ため 池にまつわる伝説や民話なども残されており、現在目に見える景観それぞれに、背景や文脈 があります。
- ◆長草天神社のどぶろくまつり、横根藤井神社の子供三番叟及び半月七社神社のおまんと祭り は、伝統的な祭りとして、本市が無形民俗文化財に指定しています。
- ◆市内では、極楽寺や普門寺を巡る知多四国ハ十八ヶ所めぐりや大日寺や地蔵院などを巡る大府七福神めぐり、花まつり大府寺院めぐりが行われ、たくさんの人が寺院を参拝しています。



長草天神社の境内林とどぶろく酒造所(長草町)



長草天神社のどぶろくまつり(長草町)

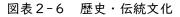


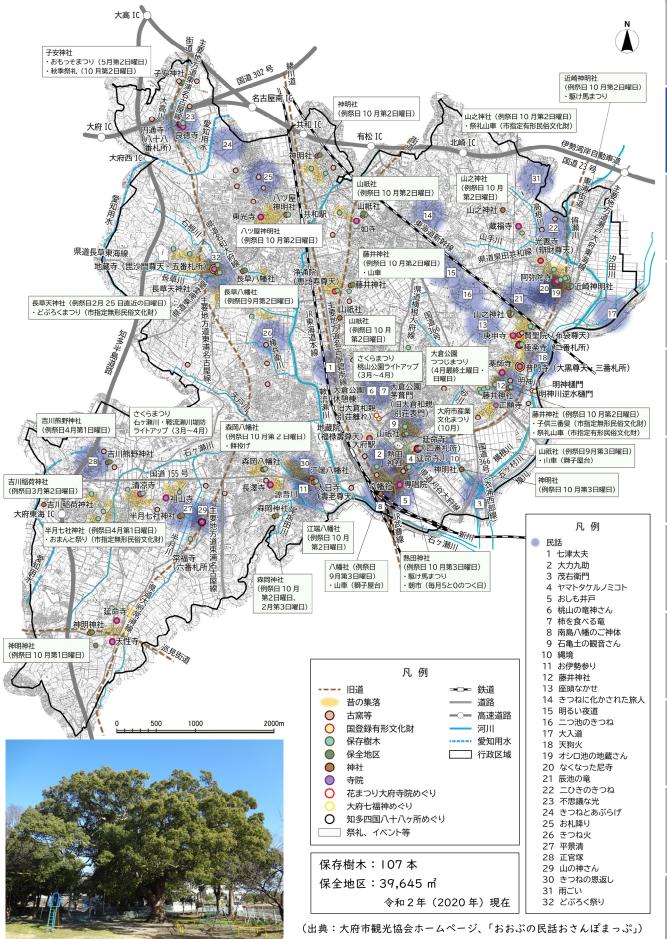
子安神社の社叢 (共和町)



藤井神社の子供三番叟(横根町)

3





## 2-5 市街地・商業地景観

過去の農地開拓から土地利用の変遷に伴い現在の市街地景観が形成され、多様な風景がパッチワークのように連なっています。

- ◆大府駅は、愛知県内で最も早い時期(明治20年(1887年))に開業されました。旧大府駅は現在の駅の南側にあり、駅東側に商店街が形成され、これが大府地区の市街地のルーツです。 (図表2-7参照)
- ◆共和駅の本格開業は昭和 26 年(1951 年)で、昭和 47 年(1972 年)には橋上駅が完成し、 駅周辺の工業の振興及びそれに伴う宅地化により中高層マンションが増加しました。
- ◆昭和 30~40 年代(1960 年代前後)以降、丘陵地を中心に、区画整理や団地開発などにより宅地開発が急速に進み、鉄道の利便性が高いことで、名古屋のベッドタウンとして人口が急増していきました。丘陵地においては低層戸建住宅が中心で、駅周辺などでは中高層マンションの立地が増加しています。
- ◆本市中央部を南北に縦貫する幹線道路((主)名古屋碧南線、(市)大府共和線)や、郊外部の幹線道路((主)瀬戸大府東海線)の整備に伴い、沿道型商業施設が多く立地したことにより、国道 155 号沿いの屋外広告物の増加も含め、沿道景観が変化していきました。



大府駅周辺の町並み(中央町)



共和駅の駅前広場、マンション群(共和町)



市民による緑化もゆきとどいた住宅地(柊山町)



(市) 大府共和線の沿道型商業施設(柊山町)

第

令和2年(2020年)の地形

(出典:国土地理院資料に加筆、市資料)

### 【インフラ整備のあゆみ】

明治 19年 (1886年) 武豊線開通

明治20年(1887年)大府駅開業

明治21年(1888年)東海道本線開通

明治 39 年 (1906 年) 七ケ村合併

大正4年 (1915年) 町制施行

昭和26年(1951年)共和駅開業

昭和39年(1964年) 東海道新幹線開通

昭和 40 年 (1965 年) 土地区画整理事業

が始まる

昭和 44 年 (1969 年) 国道 23 号開通

東名·名神高速道路全線開通

昭和 45 年 (1970 年) 市制施行

昭和46年(1971年)知多半島道路

全線開通

骨格となる鉄道整備 幹線道路網整備 駅周辺の市街地整備 郊外の住宅地整備

現在の景観

## ご昭和時代に事業着手された地区 (昭和 40 年 (1965 年) から)

#### 凡例 土地区画整理事業 完了地区 (1) 八ツ屋 13 梶田 ② 六果園 14 桃山 3 大府駅前 15 若草 4 三ツ屋 16 森岡平子 (5) 追分 17 茶屋 6 吉田 18 半月 7 東新 19 半六下 (8) 江端 20 羽根山 ⑨ 川池下 21 深廻間 10 アラタ 22 一ツ屋 11 長草新池 23 共和西 12 三ツ屋第二 ] 土地区画整理事業 施工中地区

図表 2-7 土地区画整理事業による市街地整備 明治 24年 (1891年) の地形

16

## 2-6 工業地景観

自動車関連産業をはじめ、市内各地に大規模な工業施設が立地しており、その多くは敷地の緑化に配慮がされています。

- ◆工業地景観としては、尾張・三河地方の産業の原風景として、繊維産業の特色ある「のこぎり屋根」の景観があり、現在も緑に配慮された工場として営まれています。
- ◆国道 23 号(通称名四国道)や知多半島道路の開通などの地理的立地条件に恵まれ、昭和 30 ~40 年代(1960 年代前後)から自動車関連産業の工場進出が進みました。現在では、JR 東海道本線の車窓から、巨大な工場群を見ることができます。
- ◆大規模な工場は、JR 東海道本線沿線と市北部の国道 366 号沿いの工業地域、また、(主)瀬戸大府東海線沿いの工業専用地域に集中しており、その多くは敷地内の緑化に配慮がされ、ボリュームのある緑の景観となっています。(図表 2-8 参照)



JR 東海道本線沿線の大規模工場の緑化(共和町)



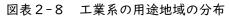
のこぎり屋根の工場 (北崎町)

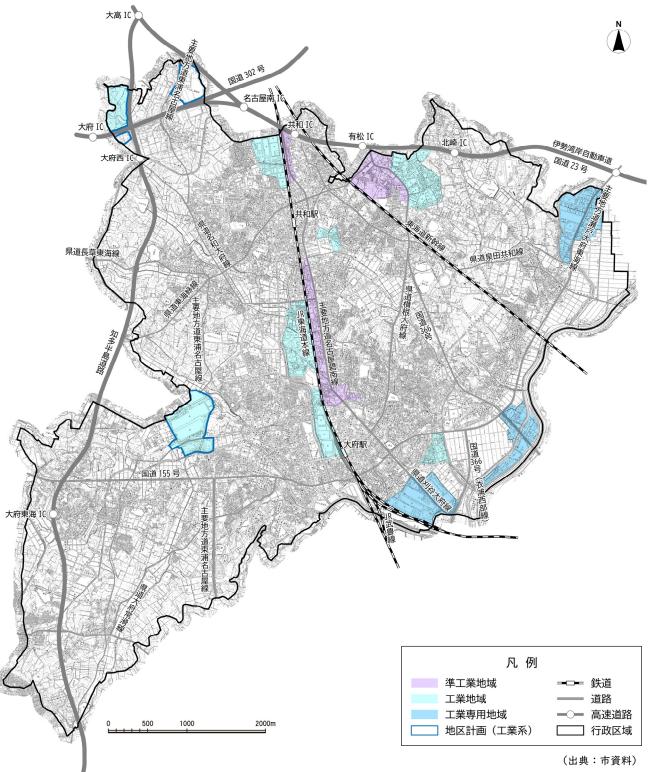


豊かな緑の大規模工場(江端町)



鞍流瀬川沿いの大規模工場と緑道 (江端町)





## 2-7 交通軸

道路や鉄道からの車窓風景、大府駅前や共和駅前の都市の玄関口としての風景など、それぞれが特色ある景観を形成しています。

- ◆市域の南北を貫く交通軸として JR 東海道本線があり、大府駅及び共和駅が玄関口となっています。大府駅前、共和駅前とも都市の玄関口としての修景整備が駅前広場、駅前通りにおいて実施されています。(図表 2-9 参照)
- ◆都市の骨格を形成する幹線道路は、鉄道と並走する南北方向の県道や市道を軸としてネット ワークを形成しており、丘陵部を通過する路線では起伏や線形の変化に富み、車窓風景も多 様です。(図表 2-9 参照)
- ◆市域西部には知多半島道路、北東部には東海道新幹線が通過し、車窓景観として本市が見えます。伊勢湾岸道路は、大規模な道路構造物がダイナミックなランドマークとなっています。 また、東海道新幹線の車窓からは農地などの広がりが眺められるとともに、地域から東海道新幹線が通過する姿が眺められます。
- ◆愛知県条例により幹線道路や鉄道のネットワークを軸とした屋外広告物の規制制度があります。(図表 2-10 参照)

ただし、規制区域内において、幹線道路沿道の一部では屋外広告物が景観を阻害しています。



大府駅西口ロータリー (江端町)



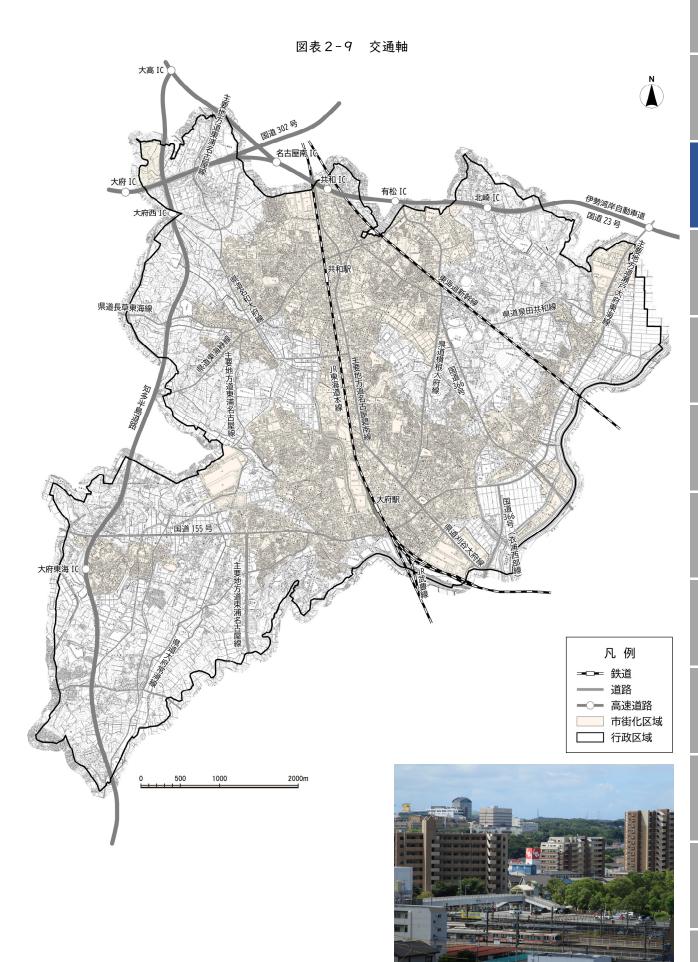
(主) 瀬戸大府東海線(横根町)



伊勢湾岸道路・名古屋南ジャンクション (共和町から名古屋市緑区方面)



東海道新幹線(北崎町)



JR東海道本線・大府駅付近(中央町)

名古屋界二項状节加州地 伊勢湾岸自動車道 伊勢湾岸自動車道 国道-23 国道/155′号 凡 例 第一種·第二種低層住居専用地域 風致地区 道路・鉄道の禁止区間 条例3条第1項第5号 道路・鉄道の禁止区域 条例3条第1項第6号 その他公園、緑地等の公共空地 都市公園の区域(公園・緑地) 道路・鉄道の許可区間 条例3条第2項第1号 500 1000 2000m 道路・鉄道の許可区域 条例5条第2項第2号 条例第5条第2項第3号の区域 第5条第1項の区域 平成27年度DID その他 市町村行政区域 道路

図表 2-10 屋外広告物の規制区域図

(出典:大府市屋外広告物規制図に加筆)

## 2-8 歩行者ネットワーク

川沿いの緑道や地域ごとに特徴のあるウォーキングコース、並木道など歩行者ネットワークが充実しています。

- ◆鞍流瀬川や石ヶ瀬川などの川沿いの緑道や地域ごとに特徴のあるウォーキングコースを散策する人も多く、レクリエーションの場、風景を楽しむ場、健康増進の場として多様な利用が図られています。(図表 2-11 参照)
- ◆市内には大府駅西線をはじめ、並木道が整備されており、町並みに彩りや季節感を与え、沿 道の景観を向上させるほか、夏の強い日差しの遮断や、蒸散作用による気温上昇の抑制など、 都市生活の快適性向上にも効果を発揮しています。



修景整備が進む鞍流瀬川緑道(江端町)



石ヶ瀬川緑道の桜並木(江端町)

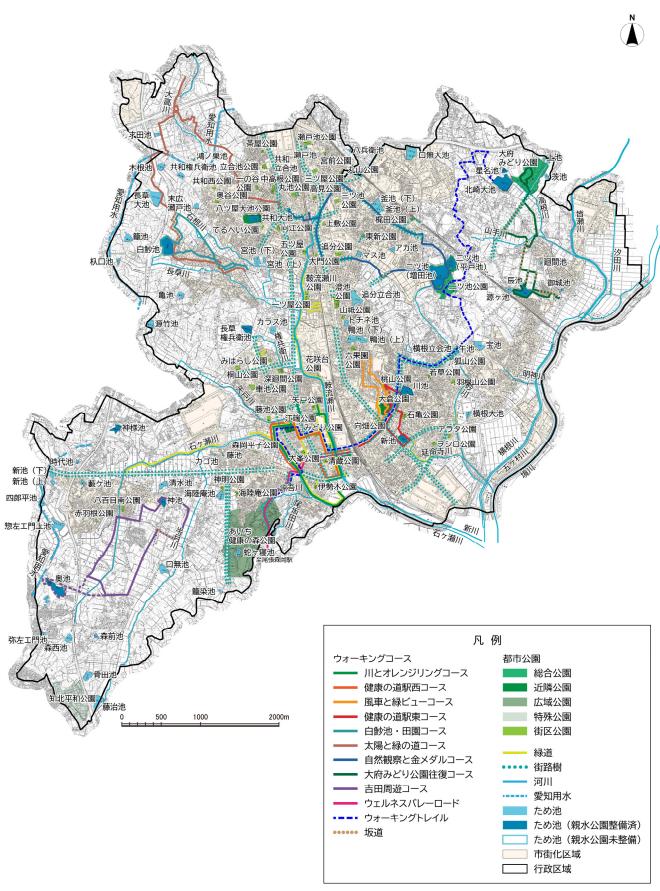


鞍流瀬川緑道 (柊山町)



あいち健康の森公園(森岡町)

図表 2-11 歩行者ネットワーク



出典:第4次大府都市計画マスタープラン、おおぶ健康都市ウォーキングマップ)

## 2-9 公園·公共施設

あいち健康の森公園、二ツ池公園などの公園、おおぶ文化交流の杜、幹線道路などの公共施 設では、市制 50 周年を記念して新たに制定した市の木(サクラ)や市の花(ツツジ)を彩る とともに、夜間のライトアップを図り、「健康都市おおぶ」を発信する特色ある景観を形成し ています。

- ◆健康長寿に関する医療・福祉・交流拠点として「あいち健康の森公園」を中心としたウェル ネスバレー基本計画に基づくプロジェクトが南西部の丘陵地に展開され、緑の中の都市的景 観が形成されています。
- ◆二ツ池公園、川池などでは、ため池を活用した緑地・広場などが整備され、市民の憩いの場 として利用されています。水辺と緑が一体となった自然風景を楽しむことができます。
- ◆二ツ池公園や石ヶ瀬川など市内のサクラの名所をマップで紹介しています。(図表2-12 参照)
- ◆市内には、都市公園をはじめとした多くの公園があり(図表2-I3 参照)、市民に利用されて いるとともに、多くの生物や植物を鑑賞でき(図表2-14参照)、緑や四季折々の花などが景 観資源としても楽しまれています。
- ◆おおぶ文化交流の杜(allobu)や大府市民活動センター(コラビア)は、市民の文化芸術活 動や多様な市民活動の拠点として整備した施設です。多くの市民参加型のイベントや市民活 動が行われています。(図表2-15参照)
- ◆大府、共和駅前や桃山公園の風車のライトアップなど、夜間も特徴的な照明が施されていま す。また、認知症に不安のないまちづくりの取組として、市道の街路照明をオレンジ電球色 にしています。



あいち健康の森公園(森岡町)



ニツ池公園の河津桜(横根町)



おおぶ文化交流の杜(allobu)(柊山町)



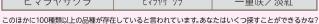
24大府駅西口ロータリーの夜間景観(江端町)

# 大府市にあるサクラの種類



## 珍しいサクラが見られるかも!?























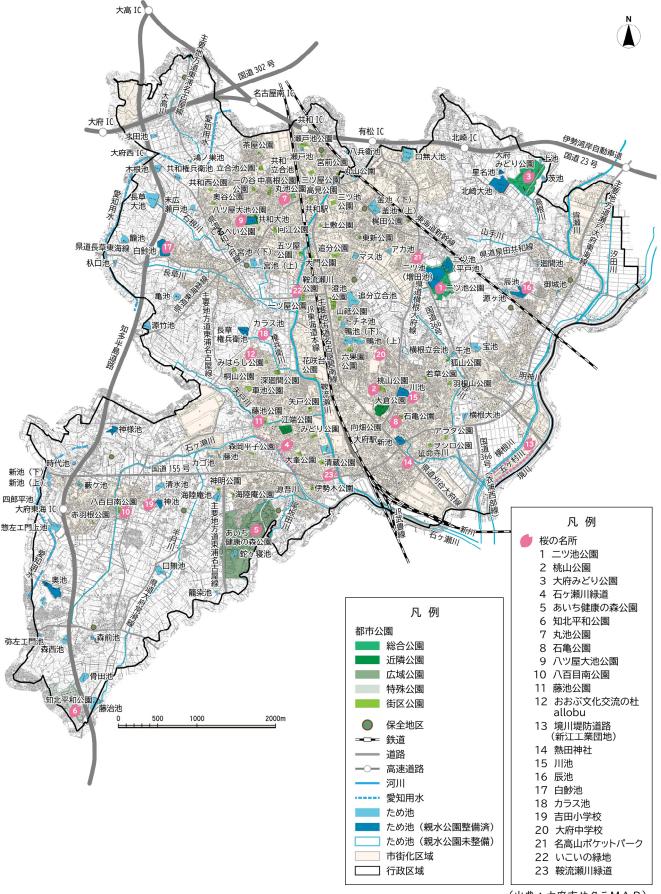
🏠 菊枝垂 (共和西地区)

☆天の川(共和西地区)

☆ 関山(共和西地区)

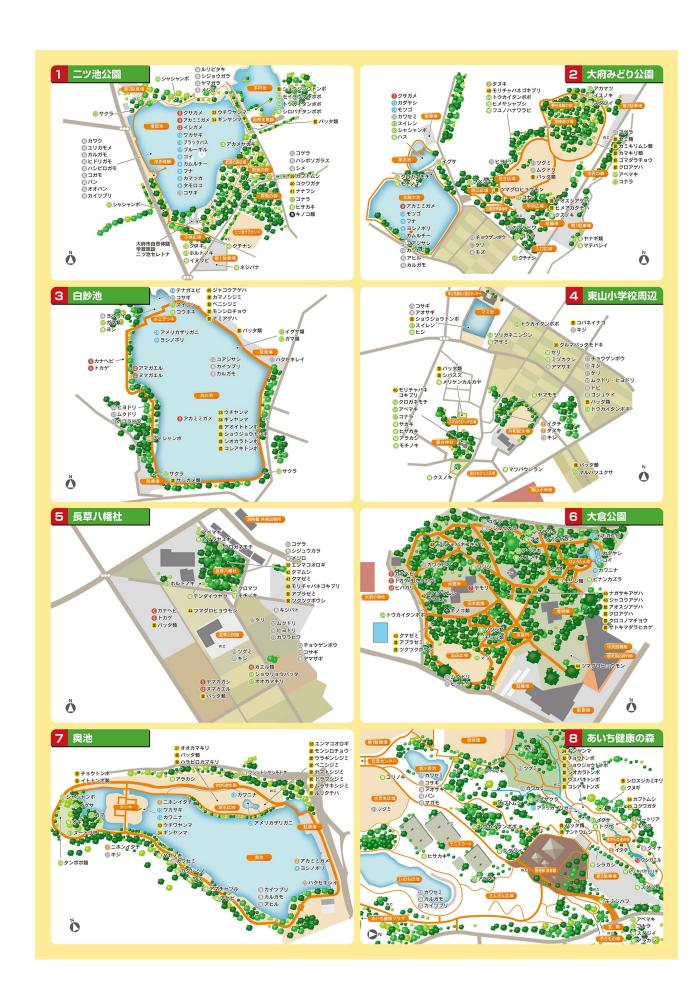
(出典:大府市サクラMAP)

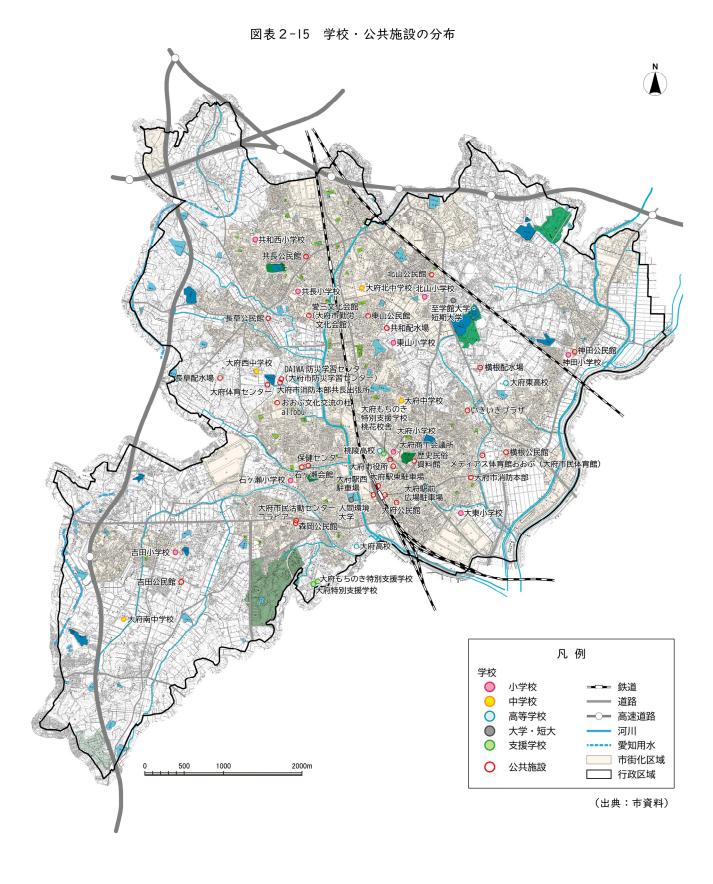
図表 2-13 公園・ため池とサクラの分布



図表 2-14 おおぶいきものマップ







## 2-10 地域ごとの原風景

各地域には依然として原風景が残されており、各学校からは周辺を眺望することができ、 町並みをはじめ農地や河川など身近な自然に包まれた学び舎となっています。

- ◆明治 39 年(1906 年)、旧村木村(東浦村編入)を除く七ヶ村が合併し、「大府村」となりました。
- ◆市内に大学が2校、高校が3校立地し、大府駅、共和駅ともに通学に利用されています。至学館大学(二ツ池公園)、人間環境大学(鞍流瀬川)、大府高校(石ヶ瀬川)、桃陵高校(大倉公園)、大府東高校(ため池、斜面樹林、坂道)は、それぞれ本市の自然や地形の特色が現れた景観資源が身近にあります。
- ◆市内の小中学校の校歌の中に原風景を歌詞として表現されており、「丘」「山(御岳、猿投の山、知多の山並み)」が多く見られます。
- ◆社寺林は遠くからも見えるランドマークであり、子どもたちの遊び場としての原風景ともなっています。また、教室の窓や屋上からの眺望、通学路の風景もまた、子ども時代の原風景です。(図表 2-16、2-17 参照)



至学館大学と二ツ池公園(横根町)



東山小学校と菜の花畑(長根町)

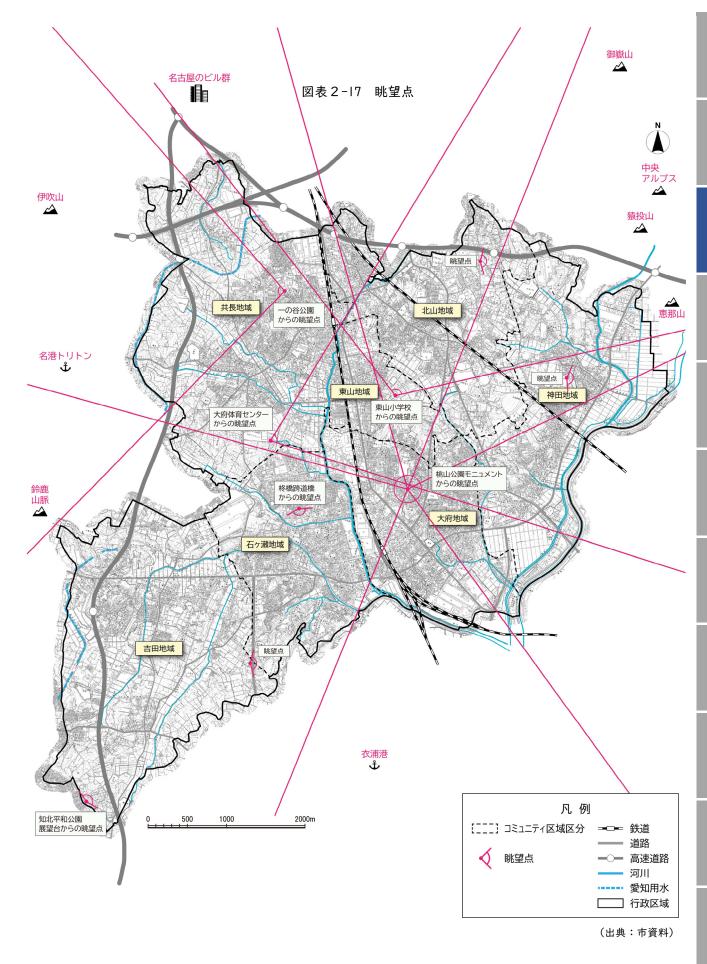


吉田小学校のくすのき広場(吉田町)



石ヶ瀬小学校と石ヶ瀬川(江端町)

図表 2-16 小中高校に見る地域ごとの原風景 大高 IC 国道302号 名古屋南, I 大府 IC 有松 IC 伊勢湾岸自動車道 北崎 IC 大府西 I 大府北中学校 ・知多の海 共和西小学校 北山小学校 ・草木もえる丘 ・伊吹山 共長地域 北山地域 共長小学校 ・丘 O ,県道泉田共和線 0 県道長草 東海線 東山小学校 東山地域 時計台 ・けやき 0 神田地域 神田小学校 ・猿投の山 大府中学校 丘の花 衣ヶ浦 桃陵 御岳の霊峰 大府西中学校 0 \ 丘松林 大府小学校 ・桜 ・知多の海 ・竹むら 大府東高校・炎ゆる丘・宝池・くちなし・竹群 もちの木 桃陵高校 石ヶ瀬小学校 • Е 90 大府地域 ・石ヶ瀬川 ・緑の丘 大府もちのき特別支援学校 桃花校舎 石ヶ瀬地域 ・緑の丘 ・鞍流瀬川 ・伊勢の海風 ・知多の波間 ・かもめ ・ひばり ・鞍流瀬川 0 吉田小学校 丘 田園の緑 国道 155号 くすの木 (0) 大東小学校 ・ 豊寿新田 大府特別 支援学校 ・小鳥 大府東 海 IC 大府高校 桃の花 大府南中学校 ・緑なす丘 吉田地域 大府もちのき特別支援学校 (出典:市資料) 小鳥 ш٠Б 海·川·池 緑·木·花 いきもの その他 地名 大府小学校 知多の海 豊寿新田 丘の花 大東小学校 神田小学校 猿投の山 けやき 時計台 北山小学校 草木もえる丘 東山小学校 共和西小学校 知多の山並 共長小学校 F 田園の緑、 吉田小学校 丘 500 1000 2000m 石ヶ瀬川 石ヶ瀬小学校 緑の丘 御岳の霊峰、 大府中学校 衣ヶ浦 桃陵 竹むら、松林、 もちの木 山並、丘 大府西中学校 大府北中学校 伊吹山 知多の海 緑なす丘 小鳥 大府南中学校 大地 凡例 大府高校 桃の花 御岳、 炎ゆる丘 [\_\_\_] コミュニティ区域区分 **━** 鉄道 大府東高校 宝池 竹群、くちなし 0 保存樹木 道路 桃陵高校 桃花 保全地区 - 高速道路 大府特別支援 小鳥 0 神社 ] 行政区域 大府もちのき 特別支援学校 0 寺院 小鳥 校歌に昔の大府の 鞍流瀬川、 伊勢の海風、 知多の波間 風景がうたわれて いる学校 大府もちのき O[特別支援学校 桃花校舎 緑の丘





一の谷公園眺望点から伊吹山の眺望(共和町)



北崎町眺望点から豊田市の山並みの眺望(北崎町)



柊山跨道橋から南側の市街地の眺望(柊山町)



東山小学校から刈谷方面の眺望(長根町)



知北平和公園展望台から市街地の眺望(桜木町)



桃山公園風車モニュメントから 刈谷方面と豊田市の山並みの眺望(桃山町)